

【かながわペットのいのち基金を活用した事業（令和元年度）】

活用事業	金額		実施回数	内容
保護した動物のケガや病気の治療	6,460千円	1,054千円	19回	(公社)神奈川県獣医師会の獣医師に診断や治療方法等の助言をいただきながら、連携して治療を実施しました。
		195千円	3回	動物愛護センターでは診断が困難な動物について、専門的診療施設(大学病院)に確定診断や今後の治療、飼養管理等の方針について助言をいただきました。
		999千円	—	動物愛護センターで治療を適切に実施するために、医薬品や検査に必要な試薬等を購入しました。
		4,212千円	—	動物の状態に合わせて、酸素濃度や温度等が設定できる動物用医療機器(ICUシステム)を購入しました。
保護した動物のしつけ(馴化訓練)	645千円	438千円	12回	人に馴れていなかったり、無駄吠えや咬み癖があるなど、そのままでは譲渡が難しい犬について、動物行動学の専門家に動物愛護センターに来所していただき、しつけ(馴化訓練)を実施しました。
		123千円	1回	動物愛護センター内で実施したしつけ(馴化訓練)では改善が困難であった犬を、動物行動学の専門家に一定期間預け、長期馴化を実施しました。
		84千円	3回	動物行動学専門の獣医師に行動観察等をしていただき、しつけ(馴化訓練)や日々の飼養管理方法、投薬治療等について助言をいただきました。
保護した動物の譲渡機会の拡大	4,602千円	4,602千円	5回	空調設備を備えたトレーラーハウスを活用することにより、県内の様々な場所に出張して猫の譲渡会を開催しました。
合計	11,707千円		—	—

※千円未満は四捨五入。